

## 第6次

# 熊本県男女共同参画計画

## 《概要版》

すべての人が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するため、県民一体となって取り組むべき指針となる「第6次熊本県男女共同参画計画」を策定しました。

### 計画の期間

令和8年(2026年)4月から令和13年(2031年)3月までの5カ年間

### 基本目標

キャッチ  
フレーズ

「そういうもんだ」はもう終わり。  
楽しく自分スタイルで輝ける熊本へ

### 基本方針

- ① 多様な幸せ(well-being)の実現に向けた価値観の醸成
- ② 自分らしく生きられる社会環境の整備・充実
- ③ 計画推進のための体制の整備・強化



# 多様な幸せ(well-being)の実現に向けた価値観の醸成

## (1) ライフステージに応じて全ての人々が希望する働き方を選択できる社会の実現

育児や介護などのライフイベントに際しても両立のしづらさを感じることなく働き続け、個性と能力を十分に発揮することができるよう、長時間労働の削減とともに多様で柔軟な働き方を促進します。また、固定的性別役割分担意識の解消や男性の家事・育児参画の促進、多様な子育て支援サービスや放課後児童クラブの充実、仕事と介護の両立支援により、誰もが希望する働き方を選択できる社会をめざします。

## (2) あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大

政治や行政、教育の各分野で女性の参画を拡大し、議会議員や審議会委員、行政や学校現場の管理職など、政策・方針決定過程への女性登用を進めます。さらに、企業経営への参画や起業の支援により、経済分野での女性活躍を促進します。また、理工系分野や女性が少ない専門領域においても人材育成と参画を後押しし、将来にわたりあらゆる分野で女性が力を発揮できる環境づくりを進めます。

## (3) 女性の所得向上と経済的自立の実現

女性の所得向上と経済的自立の実現に向けて、ポジティブ・アクションの推進等により、男女の均等な機会を確保します。また、非正規雇用から正社員への転換や待遇改善を推進するとともに、テレワークやフレックスタイム制など多様な働き方の環境整備とスキル習得等による再就職支援に取り組みます。さらに、ハラスメント防止に向けた啓発や相談体制の充実を図ります。

## (4) 農林畜水産業における男女共同参画の推進

本県の主要産業である農林畜水産業の発展や農山漁村の活性化に向け、重要な担い手である女性が持つ地域とのつながりや消費者感覚等の視点を生かし、政策・方針決定の場への参画を促進するとともに、女性リーダーの育成や経営への主体的参画、仕事と生活の両立が可能な環境づくりを推進します。

## (5) 生涯を通じた健康への支援

男女にはそれぞれ異なる健康課題があるため、性差に応じた継続的かつ総合的支援を進めます。特に女性はライフステージごとに心身の状況が変化することを踏まえ、段階に応じた情報提供の充実、がん検診の受診環境整備、妊娠・出産、不妊治療、更年期の支援、フレイル予防対策等に取り組みます。また、男性に多い生活習慣病リスクや孤独・孤立への対策にも取り組みます。職場では女性の健康に関する相談体制の構築や研修・啓発により、柔軟な働き方の導入や仕事と健康の両立を促進します。

## (6) ジェンダーに基づくあらゆる暴力を容認しない社会基盤の形成と被害者支援の充実

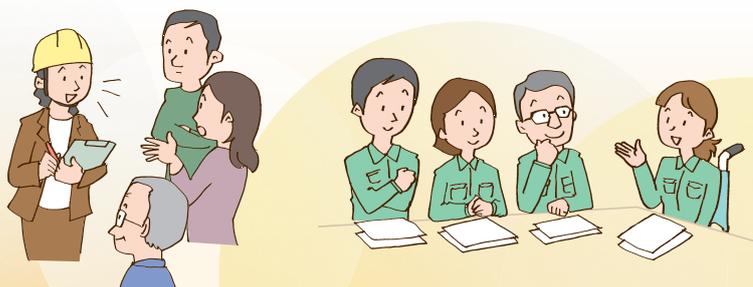
性犯罪・性暴力、DV、ストーカー行為、セクシュアルハラスメント等のジェンダーに基づくあらゆる暴力が犯罪であり、重大な人権侵害であることを社会全体で共有し、これらを容認しない社会基盤の形成に向けた啓発を推進します。そのため、誰もが安心して相談できる窓口や支援体制の整備、民間支援団体との連携、関係機関における人材の育成を図るとともに、若年層に対する被害者にも加害者にもならないための教育・啓発、被害者のプライバシー保護と二次被害防止、被害者の多様なニーズに対応した切れ目ない支援等に取り組みます。

## (7) 男女共同参画の視点に立った貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備

貧困等生活上の困難に直面する女性等に対し、相談支援や就労支援など必要な支援を総合的に実施するとともに、多様性を尊重し、あらゆる人が安心して暮らせる環境の整備を進めます。

## (8) 防災・復興における男女共同参画の推進

男女が災害から受ける影響の違いや女性の生活ニーズ、安全確保に配慮し、防災・復興の全段階で女性の意見が意思決定過程に反映されるよう取り組むとともに、地域の多様な主体と連携した防災力の強化を図ります。また、防災・復興の現場における女性の参画拡大をはじめ、女性防災人材の育成、ネットワークの構築・拡大等による女性の視点も反映した防災体制の整備を推進します。



## 自分らしく生きられる社会環境の整備・充実

### (1) 地域における男女共同参画の状況に応じた取組の推進

固定的性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消に向けた啓発や意識改革を促進します。また、若者や女性が多様な活動に参画できる暮らしやすい地域づくりにより、若者や女性に選ばれる地域をめざします。あわせて、地域の意思決定の場への女性の参画促進や、リーダーとなる女性の育成やネットワーク形成を支援します。

### (2) 男女共同参画の視点に立った各種制度等の整備

社会構造や働き方の多様化に対応するため、税制や社会保障制度の見直しの動向を踏まえつつ、固定的性別役割分担意識や仕事と家庭の両立等の悩みを抱える人が、性別にとらわれず、個性と能力を発揮できる生き方を選択できるよう、相談体制の充実を図るとともに関係機関との連携を強化します。

### (3) 教育・メディア等を通じた意識改革、理解の促進

こどもから大人までの発達段階、ライフステージに応じた教育やキャリア教育、生涯学習や能力開発を充実させるとともに、固定的性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消に向けた気運醸成を図ります。また、多様なメディア・コンテンツを活用した戦略的な広報活動や、メディアリテラシー向上のための啓発・学習機会の充実、人権を尊重した情報発信の徹底を図ります。

## 計画推進のための体制の整備・強化

### (1) 県・市町村の推進体制の強化、国との連携

関係部局が緊密な連携を図るとともに、県のあらゆる施策において男女共同参画・ジェンダー平等の視点を反映させるジェンダー主流化を推進します。また、県内各地において地域の実状に応じた施策が展開されるよう、市町村の主体的な取組を支援します。加えて、国が実施する施策や交付金の活用等にも取り組みます。

### (2) 企業や各種団体等との連携

民間企業や男女共同参画を推進する団体と協働するとともに、「熊本県女性の社会参画加速化会議」の取組を通じて、女性の活躍推進に向けた施策を進めます。また、くまもと県民交流館パレア男女共同参画センターの機能強化とともに、県内外の関係機関との連携を深め、地域における推進体制の充実を図ります。

## 第6次熊本県男女共同参画計画に掲げる成果目標一覧

成果目標	R12年度目標
県内事業所における男性の育児休業取得率	50%
女性の社会参画加速化自主宣言を行った事業所・団体等の数	250事業所・団体等
県の審議会等における女性委員の登用率40～60%を満たす審議会の割合	80%
市町村の審議会等委員に占める女性の割合	30%
県知事部局における役付職員(課長級以上)全体に占める女性の割合	特定事業主行動計画に定める
市町村における女性役付職員(課長級以上)の割合	20%
県内事業所における管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合	25%
女性経営参画塾修了生による女性ネットワークへの参加者数	230人
教職員における管理職(校長、副校長及び教頭)に占める女性の割合 ※小学校に義務教育学校の前期課程、中学校に義務教育学校の後期課程を含む	特定事業主行動計画に定める (小学校/中学校/高校等)
ポジティブ・アクション(積極的改善措置)に取り組む県内事業所の割合	55%
県内企業における所定内賃金の男女格差指数	80%
農業協同組合理事に占める女性の割合	15%
女性委員が登用されていない農業委員会数	0組織
農家数に占める家族経営協定締結農家数の割合	40%
認定農業者に占める女性認定農業者の割合	20%
健康づくりに取り組む企業・団体数(「くまもとスマートライフプロジェクト 応援団」登録数)	3,000団体
大学、高等学校、特別支援学校及び高等専門学校におけるDVや性暴力等の未 然防止教育の実施	10万人
生命(いのち)の安全教育実施率	100%
妊娠満11週以内の妊娠届出率	100%
消防団員における女性の割合	5%
固定的性別役割分担意識に同感しない県民の割合	85.0%
熊本県における10～20代の人口に対する転出超過数の割合	男性0.8% / 女性0.8%
自治会長に占める女性の割合	5%
公立小・中・高等学校・特別支援学校PTA会長に占める女性の割合	20%
男女共同参画に関する視点を取り入れた校内研修を実施した学校(公立小・中・ 高校)の割合	100%
男女共同参画計画の策定を行っている市町村の割合	100%
男女共同参画計画の進捗管理を行っている市町村の割合	100%
女性活躍推進法に基づく推進計画の策定率	100%

## 熊本県の男女共同参画の状況 都道府県版ジェンダー・ギャップ指数

地域ごとの男女格差の実態を分野別に可視化するため、地域からジェンダー平等研究会が「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」を公表しています。

この指数は、政治・行政・教育・経済の4分野における統計データをもとに算出され、各分野での男女の参画状況や男女間の格差を示しています。男女の人数（割合）が完全に同じ場合、指数は1となります。

熊本県は、経済分野では相対的に高い順位を示しているものの、全体的に改善の余地がある状況にあります。



### 熊本県の令和8年の分野別指数（順位）

- 政治分野 0.170 (35位)
- 行政分野 0.300 (35位)
- 教育分野 0.617 (34位)
- 経済分野 0.434 (10位)

〔地域からジェンダー平等研究会による〕

## 熊本県女性の社会参画加速化会議

平成26年8月に、県内の経済界をはじめとする関係機関・団体など、産官学の多様なメンバーによる「熊本県女性の社会参画加速化会議」を設置し、経済・労働分野における女性の社会参画加速化の施策を、本県の男女共同参画を牽引するリーディングプロジェクトとして位置付けて推進しています。

誰もが個性と能力を十分に発揮できる社会づくりに向け、意思決定の場への女性登用や働きやすい職場環境整備などを産官学で連携して進め、持続的で活力ある熊本の未来を創ることをめざしています。

### 《《《 熊本県女性の社会参画加速化宣言 》》》

「熊本県女性の社会参画加速化会議」では、企業等における女性の社会参画の加速化を推進するため、企業・団体等が、自ら具体的目標を掲げ宣言する「女性の社会参画加速化宣言」を募集しています。



宣言内容、募集ページ

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/56/50480.html>

## KUMAROMO くまもと女性ロールモデル

キャリアアップを目指す女性にとって、身近に感じられる若年女性をロールモデルとした「KUMAROMOくまもと女性ロールモデル」動画を県内外に発信しています。

県内の様々なジャンルで活躍する若年女性5人が出演しています。ぜひ、ご覧ください。



<https://www.youtube.com/@kumaromo>

またはこちらから



令和8年(2026年)3月 発行

熊本県 環境生活部 県民生活局 男女参画・協働推進課

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18-1 TEL:096-333-2287